

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870104803
法人名	有限会社ヒメックス
事業所名	グループホームかがやき
所在地	愛媛県松山市東方町甲1438-1
自己評価作成日	平成23年5月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年5月27日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

利用者さんとふれあいの場を持ち、1回でも多く、外出の機会を作り気分転換できるようにと努めている。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

今年度から、利用者個々の誕生会には、利用者ご本人のご家族も一緒にお祝いできるよう支援されており、事前に、ご家族の都合のよい日をお聞きして誕生会を行っておられる。今月、誕生会を行った利用者は、娘さんと息子さんが来てくださり、一緒にケーキを食べる等してお祝いをされた。  
調査訪問時、利用者の友人の来訪があり、笑顔で迎えておられる利用者ご本人の様子がうかがえた。友人の方は、週1回程度、来られて、居室で利用者とおしゃべりを楽しまれるようだ。「主人のお墓参りがしたい」という利用者の希望があり、職員は、ご本人やご家族にお墓の場所等を聞いてみられたが、はっきりした場所がつかめず、職員は、ご本人から得た町名の情報と、ご本人の言葉等を頼りに調べ、ご主人のお墓参りを実現されたという事例がある。ご本人もたいへん喜ばれたようである。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない  1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない  1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない  1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない  1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない  1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームかがやき

(ユニット名) 1階ユニット

記入者(管理者)

氏名 榊原あや

評価完了日

23年 5月 1日

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 地域とのつながりも大切と思うが、入居された方への理念となっている。 (外部評価) 開設当初作成した「共に歩み・共に生きる」という事業所の理念に沿って、職員で話し合い「気を付けること5項目」を決められ、玄関に入ってすぐの場所に、理念とともに掲示されていた。新人職員研修時には、管理者が事業所理念について話されたり「ケア等で迷った時には、事業所理念を思い出すように」職員に話しておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 隣近所とは挨拶、花火(行事)などでお誘いしたり付き合いがある。地域の事情で回覧板などはなし。 (外部評価) 事業所でバーベキューを行った際には、近所の方にも声をかけられた。その際、近所の方が様子を見に足を運んでくださったことを、事業所ではうれしく思っておられた。さらに、夏に予定している「そうめん流し」時にも、近所の方をお誘いすることを計画されていた。事業所は、「まもるくんの家」の登録をされており、道路からでも見やすいところに、まもるくんのステッカーを貼っておられた。事業所近くの小学校で行われる運動会の応援に出かけたり、公民館の支所で開催される地区のバザー「荏原祭」にも出かけて、手芸作品等、地域の方達の出品物を見学されたり、軽食も楽しみ、地域の方達と交流された。バザーの際には、地域の方が、うどん等の無料券を持って来てくださった。秋祭りの際は、事業所のトイレを開放して子ども達が使えようにされた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地区の勉強会などに参加している。地域のかたが相談に来られた場合は職員が対応できるように話し合っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 出席して下さった方の意見は会議などで報告し、できることからとりいれている。</p> <p>(外部評価) 現在、会議は、平日の14時から、30分程度開催されている。以前は2階のスタッフルームで会議を開催しておられたが、現在は、1階ユニットの居間で会議を開催しておられる。そのような取り組みから、自然に利用者の方も会議に参加されるようになった。ご家族には、会議の案内をお送りしているが、仕事を持っておられるご家族も多く、出席が難しいようで、ご家族の参加は少な目である。会議では、「最近の出来事」として、自動火災報知設備を設置したことや、市の実施指導を受けたこと、又、外部評価結果等を報告されたり、「利用者さんの出来事」として、動物園や外食に出かけたことや、新しい利用者の方が入居されたことについて報告されている。又、研修や勉強会の内容の報告等をされ、参加者の方から意見をいただくようにされている。2月には、事業所の警備会社の方を招き、玄関に設置されているAED(自動体外式除細動器)の使い方の講習会が行われた。新年度、地区の民生委員の交代があり、新しい民生委員の方からグループホームとデイサービスの違い等について質問が上がり、管理者が説明をされたこともある。</p>	<p>今後さらに、事業所のことを知ってもらったり理解や協力をいただけるよう、会議を活かして取り組みをすすめていかれてほしい。いろいろな立場の方に会議の参加を呼びかけ、会議の日時や議題、すすめ方等にも工夫して、事業所のさらなるケアサービスの質の向上につなげていかれてほしい。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議のときなどに連絡・相談させていただいている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、介護保険課の方からは、感染症対策についての連絡や感染時の対応を再度、マニュアルを勉強するようにアドバイスをいただいたり「虐待について」等、事業所で勉強する際の資料となるものを教えていただいた。生活保護受給者の生活について、金銭的なこと等も含めて相談しながら支援されている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 玄関の施錠、身体拘束は行っていない。施設内で研修を年に1回実施している。</p> <p>(外部評価) 玄関に施錠はせず、利用者の方が気ままに出かけられた際には、ご本人が納得するまで職員も一緒に歩き、ご本人に疲れた様子が見られた時には、事業所に連絡をして別の職員が車で迎えに来る等、職員が連携して利用者が納得いくよう支援されている。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  研修としては自施設のマニュアルや資料を使い、年に1回実施。日頃から話し合っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  制度を利用されている方はおられない。研修は施設内で4月15日に実施。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  入居前の面接時や契約時に不安・要望をお聞きし、説明を行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  利用者さま、家族さまのご意見は取り入れるように努めている。今年度は利用者さまの誕生会にご家族をおよびするようにし、気軽に話してもらえる機会づくりにつとめる。  (外部評価)  今年度から、利用者個々の誕生会には、利用者ご本人のご家族も一緒にお祝いできるよう支援されており、事前に、ご家族の都合のよい日をお聞きして誕生会を行っておられる。今月、誕生会を行った利用者は、娘さんと息子さんが来てくださり、一緒にケーキを食べる等してお祝いをされた。主任は、日々の介護記録等から健康状態やご本人の気持ち等を抜き出して、利用者個々の1ヶ月の様子が分かるようなお手紙を書き、ご家族に送付されている。ご家族の来訪後、ご本人が笑顔でとても嬉しそうにされていたことをお手紙で報告したところ、ご家族が来てくださる回数の増えたようなこともあった。又、ご家族から、水分摂取について要望があった際、ご本人の水分量を記録して、水分補給に気を付けるようにされた。	利用する側であるご家族の声は、事業所のケアサービスをよくしていくためのきっかけでもある。今後も、ご家族とのかかわりを大切にする取り組みを重ね、事業所のことや認知症について、さらに知っていただきながら、事業所が提供する支援内容等についても、具体的な意見や要望を聞き取ることができるよう工夫していかれてほしい。たとえば、職員の入れ替わりについてや入浴支援・居室の整理等についても、ご家族等の意見や要望等を具体的にお聞きしてみてもどうか。



## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			職員の希望で勤務時間帯を変更したり、問題点は話し合いにより、出来る物から解決を図っている。	
			(外部評価)	
			バーベキューやそうめん流し等、職員から、行事ごと等の希望やアイデア等もよく出されており、職員個々が責任を持って取り組みをすすめておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			スタッフ全員が気持ちよく働けるようにと考え、日頃の話や研修時の取り組みで職員の努力の把握に努めている。残業の給与への反映、昇給、介護職員処遇改善交付金の交付の実施している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			施設内研修を毎月実施。勤務に無理のない範囲で外部研修も受けてもらっている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			地区のグループホーム連絡会・勉強会には参加している。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用者さまの話や思いを傾聴する、安心していただけるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入所前からの相談に応じ、困っていることなどについて、十分話し合いを重ねている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) ご本人様にとって必要なことは何であるかを考えるようにしている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 生活の中で「できること」を見出し、できることをしていただいている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) その都度家族様とともに、相談し、知恵をお借りしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 懐かしさを感じる場所、四季折々での行事などで記憶や関係性が途切れないように努めている。家族様への来所の声かけも行っている。	
			(外部評価) 調査訪問時、利用者の友人の来訪があり、笑顔で迎えておられる利用者ご本人の様子がうかがえた。友人の方は、週1回程度、来られて、居室で利用者とおしゃべりを楽しまれるようだ。「主人のお墓参りがしたい」という利用者の希望があり、職員は、ご本人やご家族にお墓の場所等を聞いてみられたが、はっきりした場所がつかめず、職員は、ご本人から得た町名の情報と、ご本人の言葉等を頼りに調べ、ご主人のお墓参りを実現されたという事例がある。ご本人もたいへん喜ばれたようである。ご家族と一緒に、法事に出かける方もいる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 努めているが、言語による意思疎通が困難な方も折られるため、交流が難しいところがある。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 家族様のなかには退居後連絡を下さる方もおられる。以降も経過に対するフォローに努めていきたい。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々対話を重ね、希望・意向の把握に努めている。  (外部評価) 事業所では、利用者の言葉を日々の介護記録に留めてご本人の思いの把握に努め、「ご本人の希望に沿った支援に努めたい」と考えておられる。法事に出席される前日に、ご本人からの希望があり、毛染めをされたり、又、「コンビニに買い物に行きたい」「温泉に行きたい」等、利用者からの希望にできる限り沿い、職員と一緒に出かけられて楽しんでいる。「家で住みたい」と強い希望を持つ利用者には、実際に住まわれていた家に戻って過ごしてみられることもある。家内は段差も多く、足が弱ってきたご本人には過ごし難いことを、ご自分で納得されて事業所に戻ることを希望されるようだ。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時にこれまでの経歴、暮らし方などを書類に書いてもらう、その都度ご家族様と話しやすい環境作りに努め、お話を伺っている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 対話と観察により、把握に努めている。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者さま、ご家族様の意見、ご要望を取り入れ、現状にあった計画になるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>入居間もない頃は、1ヶ月、その後は、個々の状態によって、3ヶ月・6ヶ月ごとに計画を見直しておられる。介護計画を作成する際には、利用者ご本人に、暮らしやケアについての希望を聞き取り、ご家族には、来訪時や電話にて暮らしやケアへの要望を聞き取り、それらをもとにして、職員がユニット会で意見を出し合い、介護計画に反映するようになっている。短期目標については、毎日「ケアプランチェック表」にて、支援したことを記入するようになっており、毎月モニタリングを行っておられる。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケース記録やユニット伝達ノートで情報を共有できるようにし、実践やケアプランの見直し、改善に活かせるように努める。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>利用者様、ご家族様の状況にあわせ、ご要望、ご意見に答えられるように努める</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご支援している。</p>	

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>契約時に、ご本人、ご家族様がかかりつけ医を決められている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>入居時、2ヶ所の協力医から、医療機関を選んで、診てもらえるようになっている。以前からのかかりつけ医で診てもらう方は、ご家族が付き添って受診に出かけておられる。毎月、かかりつけ医から直接ご家族に、電話でご本人の健康状態について、説明をしてくださるようになっている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日常の気づいたことは医療連携記録に記録し、必要な場合は電話連絡し、連携している。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>入院先と相談している。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>契約時にご家族様と話し合い、必要な状態となったときは、ご家族・かかりつけ医・看護師とも連絡、相談を行って連携を大切にして、ご本人にとって安楽であることを一番に考えるように努める。過去に看取り経験あり。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>入居時、看取りの指針に沿って、終末期のあり方等について利用者・ご家族に説明され、ご本人の状態の変化時には、ご家族や医師と連絡を密に取り合いながら、ご本人ご家族の希望に沿った支援ができるよう努めておられる。ご本人の希望もあり、事業所で看取りを支援された際、毎日のように、ご家族が来てくださり、ご家族からは「よく見ていただいた」と感謝の言葉をいただいたようだ。調査訪問時、容態が急変された利用者がおられたが、職員はあわてず、他の利用者にも気を配りながら、職員それぞれに自分のやるべきことを行いながら、利用者の最期にかかわっておられた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) すべての職員が実践力があるとは言えない。施設内研修で研修を行っている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 避難訓練を実施している。民生委員さまに地域の消防組織などは教えていただいているが、協力体制ま整っていない。	
			(外部評価) 運営推進会議時に、市の担当者の方からのアドバイスを受けて、事業所では、非常災害時に備え、食糧や水、カセットコンロ等の備蓄や器具の用意、保管場所について思案されていた。年1回消防署の協力を得て避難訓練を実施されており、又、事業所独自でも避難訓練を年1回行っておられる。夜間想定訓練では、職員1名で9名の利用者を避難させる訓練も実施された。自力で歩行できる利用者には参加していただき、又、職員が介護度重度の利用者役にもなり、布団に乗せて引っ張り、ベランダまで避難させた。事業所のカーテンを防災のものに替え、12月にはスプリンクラーの取り付け工事を完了された。運営推進会議時、民生委員の方に、地域の自主防災組織について教えていただいたり、「何かあったら声をかけて」と言っていたり、事業所では心強く、又、頼りにもされている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 日頃から配慮するように話し合いしているが、出来ていないところがあると思う。	
			(外部評価) 職員が利用者をトイレに誘導する際の声かけ等について、声の大きさや、言葉かけ等に配慮が必要な場面もみられる。おむつ等、介護用品は、各居室の透明ケースに整理をしておられた。 事業所では、今年度、「利用者の声かけに配慮する」ことに力を入れて取り組んでいきたいと考えておられる。日々の利用者への対応や声かけ等を、利用者の立場に立って職員で点検しながら、ケアの質を高めていけるような取り組みをすすめていかれてほしい。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 働きかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  その方のリズムを大切にす様、気をつけている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価)  洋服、髪型の希望をきくようにしている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  食事は一人一人の希望のメニューが食べられる様に考 えている。準備や片付けはできることをしてもらっている。  (外部評価)  食事は、注文した食材がスーパーから週に2回、届くよ うになっており、足りないものは、その都度買い物に行か れている。又、魚は魚屋から新鮮なものを買っておられ る。献立は、その日勤務の職員が、利用者と相談しなが ら決めておられ、肉と魚が重ならないように気を付け たり、旬の食材を使った献立作りに配慮されている。利 用者は、食材の下ごしらえ、テーブル拭き、食器洗い等 、個々のできることを行えるように支援され、利用者 の状態に応じて、とろみを付けたり、小さく切ったりし てご本人が食べやすいようにされている。食事前、利 用者みんなで首を動かしたり、舌を出したり、発声し たり、つばをゴクンと飲み込む等、職員の声に合わせて 口腔体操を行っておられた。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価)  支援している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価)  口腔ケアの声かけ・実施行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)  ご本人の様子観察を行い、支援している。  (外部評価) 夜間はおむつを使用されている方も、日中は布パンツとパットを使用してトイレで排泄できるように支援されている。「お腹が痛い」と言われることが、排便のサインである利用者もあり、トイレに誘導すると、スムーズな排便につながるようだ。日中は、トイレに行かれるが、「夜はポータブルトイレがいい」と希望する利用者もあり、居室にポータブルトイレを置いておられる方もいる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)  便秘が悪化しやすい方はケアプランに取り入れ、マッサージなども実施。他の方も牛乳、野菜の摂取、水分の摂取状態、運動などに気をつけ、便秘予防に取り組んでいる。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)  ご本人の希望を聞いて入浴してもらっている。  (外部評価) 2～3日おきに入浴できるよう支援されている。同性介助を希望される利用者の希望に沿ったり、又、ご自分のお気に入りのシャンプーを使用される方もいる。浴槽で温まりながら足の体操を行う方もいる。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)  夜間、不安になられる方には優しい声かけ・傾聴を行い、落ち着いて眠られるように支援している。	



自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)	努めている。薬の変更あれば、薬のノートに記載し、全職員に伝達するように努めている。
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)	すべての方ではないが、手芸、縫い物、日常の家事(洗濯、配膳、清掃)で役割を担っていただいている。
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)	すべての方ではないが、買い物、温泉、外食など希望の場所に出かけられる様、支援している。
			(外部評価)	利用者や相談しながら、近くの公園やお寺に散歩に出かけたり、バスを借りて奥道後の菊花展に出かけたり、お花見や梅祭り等に出かけて季節を楽しんでおられる。廊下には、動物園や菊花展に出かけた際の写真を飾っておられ、時々、見て話題にされている。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)	支援している。
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)	支援している。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節の花を飾ったり、庭で育った野菜を見ても羅他利している。空調、音などは不快にならない様気をつけている。 (外部評価) 事業所の庭にある畑は、畑仕事の好きな利用者が日々手入れをしてくださっており、春にはイチゴができて、みんなでいちご狩りをしたり、夏には豆やかぼちゃが実り、みなで野菜が育つのを楽しみにされている。利用者が描いた絵手紙や、ぬり絵作品には「どうぞ見てください」と、ご本人のコメントを付けておられ、何枚も飾られていた。利用者で職員で半年ほどかけて制作したパッチワークの手芸品も壁に飾られていた。浴室やトイレの入り口、居室の扉等には、職員が描いたイラストを貼っておられる。玄関にはスロープもあり、車椅子でも出入りがしやすくなっている。又、ベンチも置かれてあり、外を眺めながら過ごせるようになっている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) ウッドデッキ、玄関外、駐車場にベンチがある。室内ではたたみコーナー、玄関にソファを置いている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 入居時から、ご本人の使い慣れた物、好きなものを持ってきていただくように支援している。 (外部評価) 居室に仏壇を持ち込んでおられる利用者は、毎朝、ご飯をお供えできるように支援されている。ご家族の写真や、ご本人の塗り絵の作品を飾っておられる方もいる。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) できることはしていただける様支援しているが、利用者様の状態によって、難しい場合もある。	